

平成30年度米子市水道事業会計予算について

編成方針

平成30年度は、向こう10年の事業運営の指針を示す水道事業基本計画の初年度にあたり、当初予算においても本計画の財政収支計画を基本としながら、さらに精査を加えて作成した。

中長期的な給水人口の減少及び節水機器の普及により水需要予測は減少傾向にあり、給水収益の増加が見込めない事を踏まえ、経常的経費を精査抑制して調製した。

一方投資的経費については、戸上水源地ほか3か所の水源地において老朽施設の更新及び改修を実施する。また、管路の耐震化及び長寿命化対策として、老朽管更新事業、基幹管路更新事業及び国道431号の水管橋更新事業を緊急度及び重要度等を総合評価した結果を踏まえて年次的に進める。

本予算は、より一層安全で良質な水の安定供給を図ること及び地震等災害に強い水道事業の構築を主な目的として編成した。

予算の概要

1 予算規模

1) 収益的収支

収益的収入総額は3,639,680千円で、受託工事収益の増加を見込み、前年度に比較して42,025千円(1.2%)の増加とした。

収益的支出総額は、3,405,915千円で、賀祥ダム管理費負担金、旧施設の解体費用、受託工事費ほかの増加により、前年度に比較して222,212千円(7.0%)の増加とした。

この結果、純利益は233,765千円を見込んでいる。

2) 資本的収支

資本的収入総額は、680,319千円で、主に企業債の増加により、前年度に比較して94,699千円(16.2%)の増加とした。

資本的支出総額は、1,907,740千円で、主に建設改良費の増加により、前年度に比較して226,322千円(13.5%)の増加とした。

2 主 な 事 業

- 1) 米子市、境港市及び日吉津村における配水管布設替等の改良事業（3,895 m）並びに下水道工事及び土木改良工事に伴う配水管の布設替（6,059 m）を実施する。
- 2) 耐震対策を含めた老朽管更新事業（2,020 m）を実施する。
- 3) 基幹管路（口径500 mm）の更新事業（520 m）を実施する。
- 4) 国道431号の水管橋更新事業を実施する。（1か所）
- 5) 戸上水源地ほか3か所の水源地において老朽施設の更新及び改修を実施する。